

あかちゃんが生まれたら



出生届

- 届出期間** 生まれた日から14日以内
- 届出地** 父母の本籍地、届出人の住所地、出生地のいずれかの市区町村
- 届出人** 父か母または両方
- 注意事項** 出生届(医師または助産師の記入押印があるもの)、母子健康手帳、届出人の印鑑が必要です。子どもの名には常用漢字、ひらがな、カタカナ、その他法令で認められた文字が使用できます。

市民窓口課 TEL25-1000(内線133)

児童手当

- 対象** 中学修了前までの児童を養育している父母など
- 内容** 家庭における生活の安定と、次代の社会を担う児童の健やかな成長のために手当を支給します。
- 支給月** 2月、6月、10月
- 支給月額** 0～3歳未満(満3歳の誕生日まで)…15,000円(一律)、3歳～小学校修了前…10,000円(第3子以降は15,000円)、中学生…10,000円(一律)
- 注意事項** 子どもが第何子目になるかは、養育している子どものうち、満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの子どもを年長から順に数えます。所得制限を超えた場合は「特例給付」となり、対象児童1人につき月額5,000円となります。

こども未来室 TEL25-1000(内線204)

子ども医療費助成

- 対象** 生まれた日から中学校3年生(15歳に達する日以後の最初の3月31日)まで
- 内容** 入院および通院について、保険診療で医療機関に支払う自己負担分の一部を助成します。

福祉医療課 TEL25-1000(内線163・164)

出産育児一時金

- 対象** 本市国民健康保険の被保険者が出産したとき
- 内容** 原則として国民健康保険から病院などに出産育児一時金が直接支払われる「直接支払制度」になっています。
- 注意事項** 「直接支払制度」を希望しない場合は、出産後に国民健康保険から受け取ることも可能です(ただし、出産費用を退院時に病院などにいったんご自身でお支払いいただくことになります)。なお、本市国民健康保険以外の人は、職場または現在加入の健康保険組合などに直接お問い合わせください。

保険年金課 TEL25-1000(内線552・151)

国民健康保険の加入手続き

- 届出期間** 国民健康保険に加入する場合は、生まれた日から14日以内
- 注意事項** 国民健康保険証、母子健康手帳、印鑑が必要です。職場の健康保険などに加入している人の扶養家族になる場合は、職場または現在加入の健康保険組合などに直接お問い合わせください。

保険年金課 TEL25-1000(内線552・151)

産後ケア事業

- 実施場所** 指定医療機関
- 対象** 以下のすべてに該当すること
 - ・生後4か月未満の乳児とその母(本市民のみ)
 - ・育児についての不安や体調の不調がある
 - ・ご家族などから家事、育児の支援が受けられない
- 内容** 医療機関において、ショートステイ(宿泊)やデイサービス(日帰り)により、母の心身のケアや、育児のサポートなどのサービスを実施します。
- 注意事項** 費用などの詳細は保健センターへお問い合わせください。医療行為が必要な人や、健診当日もしくは予防接種の当日と翌日の利用はできません。

保健センター TEL28-5520

「低体重児出産届」・ 「未熟児訪問」について

対象 出生時の体重が2,500g未満の乳児とその母

内容 電話やFAX、Eメールなどで保健センターに届出をしていただくと、保健センターの保健師・助産師がご自宅を訪問し、相談などをお聞きします。

注意事項 母子保健法第18条にて届出が義務付けられています。

E-mail:kenkosuisin@city.tondabayashi.lg.jp

保健センター TEL28-5520、FAX29-7760

新生児訪問

対象 生後28日までの乳児とその母(希望される人のみ)

内容 助産師がご自宅を訪問し、育児などの相談に応じます。

申し込み 電話やFAX、Eメールにて保健センターにご連絡ください。Eメールの際は件名に「新生児訪問依頼」とご入力ください。

E-mail:kenkosuisin@city.tondabayashi.lg.jp

保健センター TEL28-5520、FAX29-7760

こんにちは赤ちゃん訪問

対象 生後4か月までの乳児とその家族

内容 生後2か月頃に、助産師や保健師が訪問し、体重測定や健康状態の確認、育児などの相談、予防接種手帳を配布します。訪問の前に、個別に案内を送付します。

保健センター TEL28-5520

未熟児養育医療費

対象 市内に住所を有し、出生時の体重が2,000g以下や本市が定める症状により入院治療を必要とする未熟児

内容 給付申請(指定養育医療機関の医師の作成した意見書などが必要)の受理後、審査を行い、給付が決定されれば健康保険の対象となる入院治療費の一部を助成します。

注意事項 自己負担金を負担していただきます(自己負担金は生計を同一とする世帯全員の住民税額などによって決定されます)。退院後には申請できませんので、必ず退院前に申請してください。

福祉医療課 TEL25-1000(内線163・164)

乳幼児訪問

内容 乳幼児健診や電話相談などにおいて、保護者とともに子どもの経過を確認します。また、保護者の不安解消を目的に保健師が家庭訪問します。

保健センター TEL28-5520

チューリップ教室

対象 保健センターが行う1歳7か月児健康診査・3歳6か月児健康診査などを通じて紹介、希望された幼児とその保護者

内容 子どもと保護者の交流を中心とした年齢に応じた親子教室で、さまざまな相談にも応じます。

子ども未来室 TEL25-1000(内線208)

チューリップ教室



乳幼児健康診査

保健センター TEL28-5520

本市では、以下の乳幼児健康診査を実施しています。

● 乳児一般健康診査

実施場所 指定医療機関

対象 0～1歳未満児

内容 問診、身体計測、小児科診察、育児・相談(受診票は、妊婦健康診査受診券に添付)

お知らせ方法 指定医療機関

● 乳児後期健康診査

実施場所 指定医療機関

対象 9か月～1歳未満児

内容 問診、身体計測、小児科診察、育児・栄養相談

お知らせ方法 4か月児健診時に受診票発行

● 2歳6か月児歯科健診

実施場所 保健センター

対象 2歳6か月児

内容 集団指導、歯科診察、カリエスタット(虫歯予測検査)、フッ素塗布(希望者のみ)、育児・歯科・発達相談

お知らせ方法 個別通知

● 小児科医師による診察・発達相談

実施場所 保健センター

対象 就学前まで

内容 問診、小児科診察、発達相談

注意事項 要予約

● 4か月児健診

実施場所 保健センター

対象 4か月児

内容 集団指導、身体計測、小児科診察、育児・栄養相談、ブックスタート事業(絵本のプレゼント)

お知らせ方法 個別通知

● 1歳7か月児健診

実施場所 保健センター

対象 1歳7か月児

内容 集団指導、問診、身体計測、小児科診察、カリエスタット(虫歯予測検査)、歯科診察、育児・栄養・歯科・発達相談

お知らせ方法 個別通知

● 3歳6か月児健診

実施場所 保健センター

対象 3歳6か月児

内容 集団指導、問診、身体計測、小児科診察、歯科診察、尿検査(蛋白)、育児・栄養・歯科・発達相談

お知らせ方法 個別通知

健康診査費用の助成

対象 乳児一般健康診査、乳児後期健康診査を大阪府以外の医療機関で受診された人

内容 健康診査費用の一部を助成します。

注意事項 事前に保健センターへお問い合わせください。

保健センター TEL28-5520

4か月児健診



1歳7か月児健診





予防接種

保健センター TEL28-5520

本市では、以下の予防接種を実施しています。 ※予防接種の種類は法律の改正により追加されることがあります。

- (受け方) すべて指定医療機関で接種します。体調の良いときに、母子健康手帳を持って医療機関に行きましょう。医療機関に備え付けの予診票に記入し、医師の診察の上、接種します。
- (予防接種手帳) 各予防接種の詳細を載せています。「こんにちは赤ちゃん訪問」にて配布しています。
- (予防接種指定医療機関) 4月号広報に折り込みの「保健事業案内」をご覧ください。市ウェブサイトでもご覧いただけます。

ワクチン		対象者	標準的な接種時期	回数	対象疾患
ヒブ		2か月～5歳未満	初回接種開始は 2～7か月未満	1～4回 ※1	細菌性髄膜炎 など
小児用肺炎球菌		2か月～5歳未満	初回接種開始は 2～7か月未満	1～4回 ※1	細菌性髄膜炎 など
B型肝炎		2か月～1歳未満	1回目 2か月 2回目 3か月 3回目 7～8か月	3回	B型肝炎
ジフテリア 百日せき 破傷風 不活化ポリオ (DPT-IPV)	1期 初回	3か月～7歳6か月未満	3か月～1歳未満	3週間以上あけて3回	ジフテリア 百日せき 破傷風 急性灰白髄炎
	1期 追加		1期初回終了後 1～1年6か月の間	1期初回(3回)終了後 6か月以上あけて1回	
BCG		3か月～1歳未満	5～8か月未満	1回	結核
麻しん風しん混合 (MR)	1期	1～2歳未満	1歳になったらすぐ	1回	麻しん風しん
	2期	年長児	小学校に入学する前 年度中(年長児になれば すぐ)	1回	
水痘		1～3歳未満	1歳になったらすぐ 1回目終了後、6か月～ 1年あけて	3か月以上あけて2回	水痘
日本脳炎 ※2	1期 初回	3～7歳6か月未満	3歳	1週間以上あけて2回	日本脳炎
	1期 追加		4歳、1期初回終了後 約1年あけて	1期初回終了後 6か月以上あけて1回	
	2期	9～13歳未満	9歳	1回	
ジフテリア・破傷風混合 (DT)		11歳、12歳	11歳	1回	ジフテリア 破傷風
子宮頸がん予防ワクチン (HPV) ※3		小学校6年生相当 ～高校1年生相当の女子	中学1年生相当の女子	3回	子宮頸がん など

※1 初回接種年齢により接種回数が異なります。

※2 平成19年4月1日以前に生まれた20歳未満の人に限り、1期・2期に未接種および不足分がある人は定期接種として接種できます。2期は9歳以上の人が対象。また、平成19年4月2日～平成21年10月1日生まれの人は、2期対象期間(9～13歳未満)に日本脳炎ワクチンの定期接種(1期)不足分を受けることができます。

※3 現在、積極的な勧奨はしていません。詳細は市ウェブサイトをご覧ください。



乳幼児期にかかりやすい感染症一覧

病名	潜伏期	病状の特徴および経過	注意事項など
インフルエンザ	1～4日	突然の発熱(さむけと高熱)、咳・のどの痛み・頭痛・関節痛・倦怠感を伴う。	自己判断で解熱剤は使用しない。発症後3日程度までが最も感染力が強い。
百日咳	7～10日	かぜ症状から始まり、しだいに咳が強くなり1～2週間後で特有な咳発作になる。小さい乳児では呼吸困難をおこす。	呼吸困難からチアノーゼ・けいれん・呼吸停止になることがある。
麻疹(はしか)	8～12日	かぜ症状から始まり、高熱・結膜充血などが見られる。その後、熱が一時的に下がったときコプリック斑が出現、再び熱が高くなり赤みのある発疹がみられる。	感染力は非常に強い。1歳になったらなるべく早く麻疹風しん混合(MR)の予防接種を受ける。また、就学前にも2回目の接種を受ける。
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	16～18日	痛みを伴って耳下腺が腫れる(片方の場合もあり)。	髄膜炎、難聴をおこすことがある。耳下腺が腫れてから4日間は感染力が強い。
風しん(三日ばしか)	16～18日	発熱・リンパ節の腫れとともに発疹が出る。桃色の発疹が顔面から始まり体に広がる。約3日で消える。	1歳になったらなるべく早く麻疹風しん混合(MR)の予防接種を受ける。また、就学前にも2回目の接種を受ける。
水痘(水ぼうそう)	14～16日	発疹が体の中心から広がる。赤い発疹が水を持ち、かさぶたの順に変化する。かゆみが強い。	1歳になったらなるべく早く予防接種を受ける。
咽頭結膜熱(プール熱)	2～14日	39℃前後の高熱が3～7日続く。目の充血や目やに、のどの痛みが出る。	タオルの共用は避ける。
伝染性紅斑(リンゴ病)	4～14日	軽いかぜ症状の後、頬が赤くなったり手足に網目様の赤い発疹が現れたりする。	妊婦の感染には要注意(症状がでたときには感染力はない)。
手足口病	3～6日	水を持った発疹が手のひらや足の裏に見られる。口の中にもできる。	口内炎がひどく食事がとれないときは、飲み込みやすいものを与える。爪が剥がれる症状が後で見られることがある。
突発性発疹	約10日	38℃以上の高熱が3～4日続いた後、解熱とともに体にバラ色の発疹が現れる。	生後6か月～2歳未満に多い。2回かかる人もいる。
ウイルス性胃腸炎	ロタウイルス 1～3日 ノロウイルス 12～48時間	嘔吐(おうと)・下痢・腹痛など	嘔吐・下痢がひどいときは脱水に注意する。吐物などで汚れた食器やリネン類は熱湯や塩素などを用いて消毒する必要がある。
ヘルパンギーナ	3～6日	突然の高熱が1～3日続き、のどの奥に水疱などができ、のどの痛みがひどい。	食べられないときは、飲み込みやすいものを与える。脱水に注意する。